

< 授 業 記 録 >

教師の発問・児童の反応	学習の様子
<p>1 前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。(14:10)</p> <p>T：昨日の学習を振り返りましょう。昨日やったことは何でしたか。</p> <p>S：最初小さな工場だった中島飛行機が工場を発展させて、太田市も発展していった。</p> <p>T：(モニター(画像資料)を提示し)飛行機(B29)が爆弾を落としているけど、この爆弾はどこに落とされているのかな。</p> <p>(破壊された工場の写真を提示し)中島飛行機の工場です。たまたまではなく狙われたのです。(1945年)</p> <p>S：え〜っ！やはり、ここで飛行機を作っていたからかな。</p> <p>T：戦争が終わって現在はこう(今のスバルの写真を提示)なった。</p> <p>S：瓦礫から復活したということだ。</p> <p>S：工場が壊されて、どうやって立ち直ったのかな。</p> <p>S：飛行機の工場を作ったときも大変だったから、壊された後は、もっと大変だったのではないかな。 など</p> <p>T：工場が壊されたから、仕事もなくなる。従業員数も5万人から3200人に減った。</p> <p>S：え〜っ！そうすると、働くところがなくなって、生活が苦しくなるね。</p> <p>T：でも、今のスバルはこうだよ。(写真確認)</p> <p>S：ああ。なんで復活しているのだろう。</p> <p>S：どうやって再出発したのだろう。 など</p>	
<p>T：今日のめあてはどうしますか。</p> <p>(児童のつぶやきをもとに、本時のめあてを板書する。)</p>	
<p><めあて> ばくげきを受けた後、どのようにさい出発したのだろうか。</p>	
<p>T：どのように再出発したのだと思う。(予想を問いかける。)</p> <p>S：残った従業員たちが、諦めたくないと思って、お金を集めて現在のスバルになった。</p> <p>S：想像がつかないくらい難しい。 など</p>	

2 一人一人が、解決に必要な情報を読み取る。(14:15)

T：では、調べてみましょう。どのようにして再出発したのか、それがわかる場所に、線を引いたり、○をつけたりしましょう。

.....

T：周りの友達と確認しましょう。

.....

T：みんなで確認しましょう。

S：中島飛行機はいくつかの会社にわかれた。そして、残った部品を使って、自転車やリヤカー、食器などを生産した。

S：他に、ラビットというスクーターがつけられた。

T：どうしてこういうものをつくったのだろう。

S：残った部品を使っても、飛行機はつけれない。

S：町の人が生活しやすくなる。

S：人々の生活に役立つ。

S：飛行機はもう必要なくなったからつくらない。

S：他には、ラビットというスクーターがつけられた。 など

T：今は自動車の会社になっているけれど、何か関係はありそうですね。

S：スクーターと自動車が繋がっていると思うよ。

S：これが、今の自動車の会社にもつながったのかな。

T：このスクーターができたのが1946年だそうです。

S：工場が壊されたのが1945年だったよね。

S：たった1年？

S：部品が余っているから、簡単にスクーターを作ることができたのかな……。 など



3 学級全体で、各自が読み取った情報を整理し、中島飛行機の再出発について話し合う。(14:30)

T：飛行機をつくっていた先人たちは、簡単に別のものづくりができたのでしょうか。

S：いやいや、そうじゃないと思う。

T：どうして？

S：飛行機と部品のつくり方が違うから。

S：こんなにいろいろなもの（自転車、リヤカー、食器、スクーター）をつくったことがないから。

S：飛行機づくりのときも、いろいろな失敗をしていたね。

S：飛行機のときみたいに、いろいろ研究したり、実験したりしたはずだから。

S：事故とかもあったよね。 など

T：簡単にはいかないということですね。

うまくいかない、簡単にはつけれない。

では、どうしたのでしょうか。調べてみましょう。

.....

T : では、調べたことを近くの友達と話し合ってみましょう。

.....

T : 別のものをどのようにつくったのか、クラス全体で話し合いました。簡単にはいかない別の物をどうやってつくったのでしょうか。

S : 飛行機をつくったときと同じように、失敗しても諦めずに、失敗した原因を追及して、何度も何度も作り直して完成させた。

S : 飛行機がくれなくなったけど人々の生活に使えるものを作りたいという気持ちが強かったから新しいものがつくることができた。

S : つまり、(攻撃から)自分たちの身を守るのではなくて、人々のくらしを守るという感じです。

S : どうしたら安全にできるかなって、安全面についても研究した。

S : もともと飛行機の性能がよかった。その飛行機の部品で作った物だから、別のものもいいものになった。エンジンとか、タイヤとか。

S : スクーターのエンジンにも使うことができたのだと思う。など

T : 飛行機の技術がこのスクーターに生かされているってことかな。

S : そう。

S : 人々の生活が苦しいから、それを救うために、たった1年でいろいろなものを完成させたかった。

S : だから、人々は努力したわけだ。 など

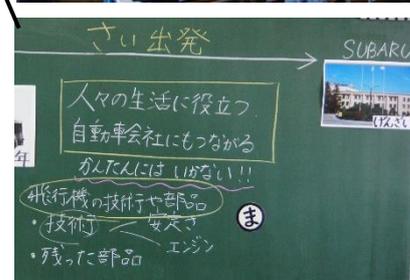
T : では、整理しましょう。

(板書で確認しながら) 研究したり、何度も試したり、飛行機の性能・技術・部品を活用したりして、これら(自転車、リヤカー、食器、スクーター)をつくったという感じになりそうかな。

飛行機とスクーターの写真を比べて、どこに共通点がありそうですか。

S : タイヤ、一緒だね。

S : 本当に(飛行機の)残った部品を使ったということだね。



4 本時のまとめをし、一人一人が学習の振り返りをする。(14:45)

T：授業の最初は、分からないって言っていた（めあてに対する予想）けれど、どのように再出発したか、分かりましたか。

S：1年で別の物をつくって再出発した。

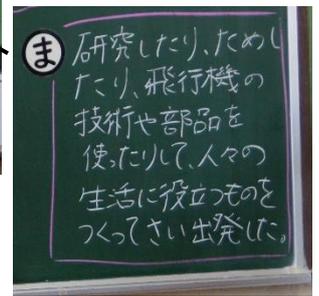
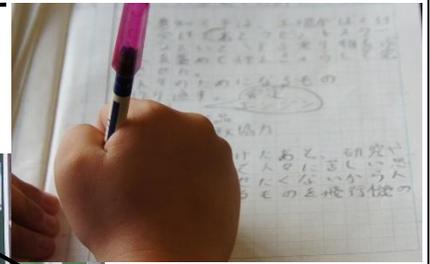
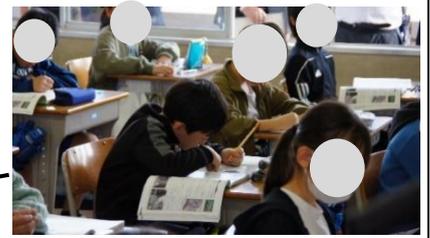
S：簡単に再出発したわけではないできない。 など

T：では、それぞれまとめてみましょう。

.....(まとめている)

T：では、どんなふうにまとめたか、聞いていきます。

(何人かが発表をもとに、板書にまとめていく。)



<まとめ>

研究したり、ためしたり、飛行機の技術や部品を使ったりして、人々の生活に役立つものをつくって再出発した。

T：今日の学習はどうでしたか。

S：すごかった。(中島飛行機は) わずか1年で、復活。 など

T：では、最後に振り返りをしましょう。今日は何を学んだか、そして、これから何を知りたいか、などをまとめてみましょう。

.....(まとめている)

T：では、発表しましょう。

S：爆撃を受けた後、諦めずに人々の生活に役立つ物をつくって、再出発したことがわかった。次は飛行機の残った部品でどうやって車をつくったのか知りたい。 など

T：「次は、車について知りたいです」というふうに書いた人いますか。(多くの児童が挙手をする。)

では、ここ(自動車が作られるようになったときのこと)を次の時間にみんなで調べていきましょう。

